

# R3年大豆栽培農事メモ 第3号 (エンレイ版)

令和3年7月27日  
白山石川営農推進協議会  
石川県農業共済組合  
松任市農業協同組合

## 1 生育状況

- 管内の開花盛期は7月17日頃（前年並み）となっています。
- 5月下旬に播種したほ場や、培土の実施が完了したほ場では生育が旺盛になっており、より多くの水分が必要な状況となっています。
- 一方で梅雨明け後は高温・多日照な日が続いており、ほ場の乾燥が進んでいます。（8月1日以降は、平年差+2.2℃の高温が続く予報が出ています）



里のほほえみ エンレイ

○今後の管理として、高温による乾燥ストレス軽減のためのうね間かん水や、品質向上に向けた除草対策と生育に合わせた適期防除の実施に努めましょう。

## 2 高温乾燥時や強風時は、うね間かん水を実施しましょう！

- 開花期（7月中下旬）～莢伸長期（8月上・中旬）にかけては干害の影響を受けやすく、圃場の乾燥が続くと着莢数が減り減収します。
- 今後乾燥が続く場合、葉が裏返る前に、早めうね間かん水（地温の低い夕方から早朝にかけて行うことが望ましい）を実施しましょう。
- うね間かん水を円滑に実施するため、うね間のつなぎや排水溝等の点検を行い、入排水がスムーズにできるようにしましょう。



## 3 除草対策・除草剤の散布により雑草の発生を抑えましょう！

| 除草剤名               | 適用雑草名             | 使用時期<br>[収穫前日数]                       | 10a 当たり使用量<br>(希釈水量)                        | 散布方法   | 使用回数 |
|--------------------|-------------------|---------------------------------------|---|--------|------|
| バスタ液剤              | 畑地一年生雑草<br>【非選択性】 | 畦間処理：雑草生育期<br>[収穫28日前まで]              | 300~500 mL<br>(100~150L)                    | 雑草茎葉散布 | 3回以内 |
| プリグロックスL           | 畑地一年生雑草<br>【非選択性】 | 畦間処理：雑草生育期<br>(草丈30cm以下)<br>[収穫3日前まで] | 600~1000 mL<br>(100~150L)                   |        | 4回以内 |
| ラウンドアップ<br>マックスロード | 畑地一年生雑草<br>【非選択性】 | 畦間処理：雑草生育期<br>[収穫前日まで]                | 200~500 mL<br>(通常散布50~100L)<br>(少量散布25~50L) |        | 2回以内 |

※いずれも大豆にかかると枯れるため、注意して散布して下さい。

## 5 適期防除で収量・品質の向上に努めましょう！ 紫斑病やカメムシ類などの防除を徹底し、 きれいな大豆を生産しましょう。



### (1) 粉剤防除

|     | 生育ステージ                 | 使用時期の目安      | 使用薬剤名<br>[収穫前日数]                 | 10a 当たり<br>使用量 | 対象病害虫名   | 使用回数 |
|-----|------------------------|--------------|----------------------------------|----------------|--|------|
| 1回目 | 幼莢期<br>(開花後15日頃)       | 8月1~5日       | スミチオンベルコート<br>粉剤DL<br>[収穫21日前まで] | 3kg            | 紫斑病、カメムシ類、<br>マメシクイガ*                              | 4回以内 |
| 2回目 | 子実肥大初期                 | 8月10<br>~15日 | スミチオンベルコート<br>粉剤DL<br>[収穫21日前まで] | 3kg            | 紫斑病、カメムシ類、<br>マメシクイガ*                              | 4回以内 |
| 3回目 | 子実肥大後期                 | 9月1~5日       | トレボン粉剤DL<br>[収穫14日前まで]           | 4kg            | カメムシ類、シロイモジ<br>マダラメイガ*、マメシクイガ*、<br>ハモシヨトウ、アブラムシ類、他 | 2回以内 |
| 随時  | 開花期～幼莢期<br>(7月下旬～8月上旬) | ウコンノメイガ 初発時  | サイアノックス粉剤<br>[収穫7日前まで]           | 4kg            | ウコンノメイガ*   | 2回以内 |
|     | 子実肥大後期<br>以降           | カメムシ 多発時     | MR. ジョーカー粉剤DL<br>[収穫7日前まで]       | 4kg            | カメムシ類  | 2回以内 |

### (2) 液剤防除

|     | 生育ステージ                 | 使用時期の<br>目安   | 使用薬剤名<br>[収穫前日数]                        | 希釈倍数<br>(10a 当たり<br>使用量) | 対象病害虫名                              | 使用回数 |
|-----|------------------------|---------------|---|--------------------------|-------------------------------------|------|
| 1回目 | 幼莢期                    | 8月1<br>~5日    | 混用<br>Z ボルドー水和剤<br>カスケード乳剤<br>[収穫7日前まで] | 500倍<br>(100~300L)       | 紫斑病、葉焼病<br>斑点細菌病                    | -    |
|     |                        |               |   | 4,000倍<br>(100~300L)     | カメムシ類、ハモシヨトウ<br>ウコンノメイガ*            | 2回以内 |
| 2回目 | 子実肥大初期                 | 8月10日<br>~15日 | アミスタートレボンSE<br>[収穫14日前まで]               | 1,000倍<br>(100~400L)     | 紫斑病、カメムシ類                           | 2回以内 |
| 3回目 | 子実肥大後期                 | 9月1日<br>~5日   | スタークル液剤10<br>[収穫7日前まで]                  | 1,000倍<br>(100~300L)     | カメムシ類                               | 2回以内 |
| 随時  | 開花期～幼莢期<br>(7月下旬～8月上旬) | ウコンノメイガ 初発時   | プレバソンフロアブル5<br>[収穫7日前まで]                | 4,000倍<br>(100~300L)     | ウコンノメイガ*                            | 2回以内 |
|     | 子実肥大後期<br>以降           | カメムシ 多発時      | トレボン乳剤<br>[収穫14日前まで]                    | 1,000倍<br>(100~300L)     | カメムシ類、ハモシヨトウ<br>マメシクイガ*<br>アブラムシ類、他 | 2回以内 |

近年、子実肥大期に葉を損傷し、豆の充実を低下させるウコンノメイガや葉焼病の発生が増えています。初発時の発生状況を確認し、適切に防除しましょう。



農薬・除草剤の使用では、使用基準を守り適正に使用し、周囲への飛散に注意するとともに、熱中症予防のため、特に暑い日は無理をしない！